

宮坂建設工業が防災推進会議

285人参加し研鑽積む

講話など通し安全意識高める



宮坂建設工業(株) 宮坂寿文社長(札幌支店)

宮坂建設工業(株) 宮坂寿文社長(札幌支店)は、佐美恭広支店長(二十二日、札幌サンプラザで二十四年度防災推進会議を開催した。講話などを通し、工事に携わる一人ひとりの安全意識高揚を図った。

同社は「安全は事前に危険の芽を摘み、事故・災害を未然に防ぐ」ことが大切との考えから、安全大会を「防災推進会議」に改称し、帯広本社で実施している。札幌支店では従来「安全研修会」を開催してきたが、協力会社数が増加したため、防災推進会議に切り替え実施した。

本支店役員や協力会社から二百八十五人が参加。あいさつに立った宮坂社長は「写真」は「我が社が何よりも優先するのは安全。決して人をけがさせない事。予防安全の中で特にやっていただきたいのは、気づいた

たら遠慮なくお互いに声をかけること。大型現場においては、リスクも倍増する」と述べ、安全第一で取り組む考えを強調した。

また、ことし創業九十年、札幌支店開設七十周年を迎えることを報告し「皆さまとともに各発注者の期待に応えるよう、民間のオーナー様に喜ばれるようお互いに良い仕事をしていこう」と呼びかけた。

会議では、札幌中央労基

署・藤井邦明署長、札幌方面北警察署・坂本則夫交通課長、札幌北消防署・富田和廣予防課長の講話を聞いたあと、同社の村井和代安全環境対策室長がリスクアセスメントなどの労働安全衛生方針を説明し、全員で安全第一の基本を再確認した。

また、防災推進会議に引き続き、安全研修会を実施。安全等に関する取り組み発表や坂井労働安全コンサルタント事務所(札幌支店)の坂井昭夫所長が「建設業の安全管理」について講演。最後に意見交換が行われ、安全衛生意識の学習・知識向上に努めた。

安全最優先で業務遂行誓う

宮坂建設工業が札幌支店防災推進会議

宮坂建設工業(本社・帯広)は22日、札幌サンプラザで札幌支店防災推進会議を開いた。協力会社を含む約280人が、安全最優先での業務遂行を誓い合った。写真。

宮坂寿文社長は「ことは創業90周年、札幌支店開設70周年を迎える。これからも安全を最優先に、いい仕事をしていこう」と呼び掛けた。

藤井邦明札幌中央労基署長は労働発生状況を説明し「労災防止の特効薬はない。基本的なことを確実に実施して」と要請。



坂本則夫札幌北警察署交通課長は交通事故防止、富田和広札幌市北消防予防課長は地域防災をテーマに講演し、同社の村井和代安全環境対策室長が労働安全衛生方針を説明した。続いて安全研修会を開き、各自の安全認識を再確認した。